

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09020080

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 事業期間 平成24年度～平成29年度 全体事業費 147,600千円 ・路線測量、工事設計 ・路網整備工事 L=7.44km
基本施策	2 林業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 生産体制の強化	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	町有林路網整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	効率的な森林施策		#N/A	
事業目標	路網整備 L=7.44km	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	有	森林森林整備計画

121	全体計画 事業内容	平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	路網整備工事 L=7.44km 上幌内地区 (H24～H26) L=5.14km 幌内地区 (H27～H29) L=2.30km	路網整備工事 L=1.52km	路網整備工事 L=3.62km 路線測量、工事設計 L=2.14km	路線測量、工事設計 L=1.00km	路網整備工事 L=1.00km 路線測量、工事設計 L=1.30km	路網整備工事 L=1.30km	
計 画 事 業 費	事業費(千円)	132,600	20,000	62,000	4,000	23,200	23,400
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	132,600	20,000	62,000	4,000	23,200	23,400
	地方債 その他 一般財源	0 0 0					
実 績 事 業 費	事業費(千円)	79,408	19,793	59,615	0	0	0
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	79,408	19,793	59,615			
	地方債 その他 一般財源	0 0 0					
関 連 事 項	特定財源の名称 森林整備加速化・林業 再生事業補助金	【評価・実績】	(実施内容等) 路網整備工事 L=1.52km  ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 路網整備工事 L=3.62km 路線測量、工事設計 L=2.14km  ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等)  ※事務事業評価結果	(実施内容等)  ※事務事業評価結果	(実施内容等)  ※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	路網整備 L=1.52km	路網整備 L=3.62km 路線測量、工事設計 L=2.14km	路線測量、工事設計 L=1.00km	路網整備 L=1.00km 路線測量、工事設計 L=1.30km	路網整備 L=1.30km
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	99%	96%	0%	0%	0%
		全体達成率	15%	60%	60%	60%	60%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆				

事業名	町有林路網整備事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	林務係長	渡部 憲一

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町有林	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	路網整備延長 路線測量、工事設計延長	
【抱える課題やニーズは】	効率的な森林施業を行うための路網整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	林業経営の安定化	① 路網整備延長÷計画延長	目標年度	平成26年度
			目標値	3.62 km
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	森林資源内容の充実と生産力の増強を図り、森林の持つ多様な機能を高度に発揮させる。	② 路線測量、設計延長÷計画延長	実績値	3.62 km
			達成度	100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①路網整備工事	林業専用道上幌内線整備工事を実施し、林業専用道を開設。(L=1.48km) 林業専用道上幌内2号線整備工事を実施し、林業専用道を開設。(L=2.14km)		
	②路線測量、工事設計委託	林業専用道上幌内2号線の路線測量、工事設計を委託した。(L=2.14km)		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	森林資源の確保や有効活用を図るべく、生産体制の強化を推進し、効率的な森林施業、木材の安定供給を行うため、路網整備は必要性が高い。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施することで、林業経営の安定化が図られる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	森林整備加速化・林業再生事業による北海道が示す林業専用道規格に沿って工事を発注しており、事業コストは妥当である。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	事業費全額が交付金(森林整備加速化・林業再生事業)の対象となるため、町の負担は無い。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
林業経営の安定化を図るため、路網整備は必要不可欠であることから、今後も計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
路線測量・工事設計に基づき工事を発注していくことから、路網整備が終了するまでは現状維持で継続することが適当と判断する。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
  - 終了    ○休止    ○廃止